

住みよいくらし発見 《5年3学期・全10時間》

ねらい

- ・ 気持ちのよい住まい方に興味を持ち、身の回りを快適に整えようとする意欲をもつことができる。
- ・ 自分の住まい方を見直し、快適に住まうために自分なりに考え、工夫することができる。
- ・ あたたかさ、風通し、明るさなどから自分の課題を選択し、身の回りを快適に整えるための課題を追求することができる。
- ・ 身の回りを快適にするための方法を理解することができる。

めざす子どもの姿

住まい方に興味をもち、家族で過ごす空間を快適に過ごせるよう、工夫し、整えることができる。

生活に生かす

課題追求

課題把握

生活見つけ

< 家族のために >

住みよいくらし方を試してみて、家族に喜んでもらいたいな。

家族が楽しく過ごせる部屋にしたいな。

暖かくて明るい部屋にできるといいなあ。

家族の集まる場所を気持ちよく

家族の集まる部屋への願いをもとう
・ 学習計画を立案

自分の家の問題点の調査

家族が集まる場所の暖かさや明るさはどうだろう。

確かめてみよう住みよいくらし

～ 課題解決に向け、追求しよう
・ 課題別学習に取り組む。

課題解決への見通しをもとう
・ 課題追求の方法調べ
・ 課題別学習の計画立案

課題を明らかにしよう
・ 自分の家の問題点の明確化
・ 課題別グループの作成
・ グループとしての課題の明確化

住みよくするための家庭での工夫のアンケートや家族へのインタビュー調査

暖かい部屋にしたり明るい部屋にしたりするためにはどうしたらいいか調べてみよう。家では、どんな工夫をしているのかな。

よりよい方法の実践

・ 住みよいくらしを発見しよう
・ ワークショップ形式で交流会

伝えよう住みよいくらし

・ よりよい方法を仲間に伝えよう
・ 追求結果をまとめる。

よりよい方法の試し

住みよいくらしをするための方法が分かった。試しにやってみて、家族や近所の人感想を聞いてみよう。

< 家族から >

学習前の子どもの姿

- ・ 身の回りや家族と過ごす場所を快適に整えることができる。
- ・ 片付いた部屋をさらに気持ちよくする意識は弱い。